

※本資料は、10月30日に町田市南市民センター内ホールで開催した事業説明会で配布した資料です。

# 境川金森調節池について

平成 28年10月30日(日)

東京都建設局河川部  
東京都南多摩東部建設事務所

## <問い合わせ先>

○調節池の計画等に関すること  
東京都建設局河川部計画課

TEL 03-5320-5415

○調節池の工事等に関すること  
東京都南多摩東部建設事務所工事課

TEL 042-720-8644

## <ホームページ>

これまでの説明会資料などは、東京都南多摩東部建設事務所ホームページに掲載しています。

(URL : <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/nantou/kouji/kasen-seibi.html>)

# 1. 境川の整備状況と今後の予定



**<整備状況>**

- ・都区間の50ミリ護岸整備はほぼ完了。(護岸整備率98%(H27年度末))
- ・下流県区間に未整備箇所があるため、都区間では河底を十分に掘り下げることが出来ない。
- ・下流県区間では、護岸や遊水地の整備を進めているが、整備完了(河道30<sup>ミリ</sup>→50<sup>ミリ</sup>)までには、長期間を要する見込み。

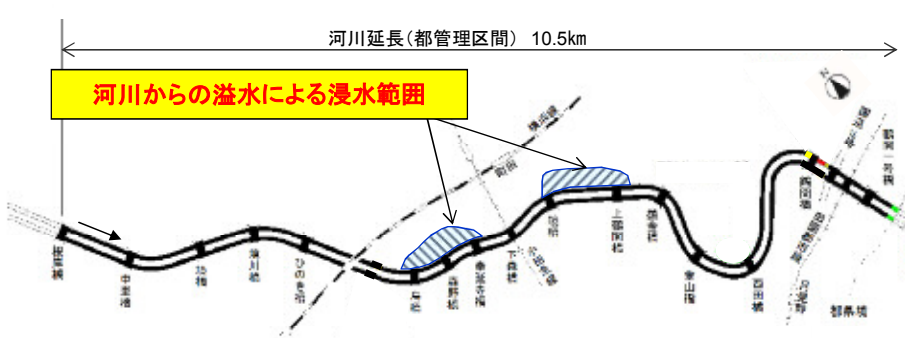


今後の予定(東京都・神奈川県) (境川水系河川整備計画)

管理者	整備内容	前期(1~10年)	中期(11~20年)	後期(21~30年)
県(上流)	①風間遊水地	[Blue bar]		
	②護岸整備	[Blue bar]		
	③河床掘削	[Blue bar]		
都(中流)	④境川中流第二調節池(仮称)	[Red bar]		
	⑤境川金森調節池	[Red bar]		
	⑥その他調節池		[Red bar]	
	⑦暫定河床掘削		[Yellow dashed bar]	
	⑧河床掘削(都区間全域)			[Yellow bar]
県(下流)	⑨相鉄線上流遊水地	[Blue bar]		
	⑩相鉄線狭さく部	[Blue bar]		
	⑪藤沢橋狭さく部	[Blue bar]		
	⑫河道整備	[Blue bar]		

# 2. 平成20年8月末豪雨における水害状況

○平成20年8月末豪雨(8月28日)



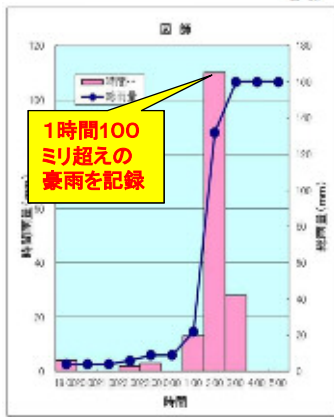
**<左図の主な浸水状況>**

浸水面積 4.59ha  
 床下浸水 32件  
 床上浸水 14件

**<各市の被害総額>**

町田市 約5億2千万円  
 相模原市 約1億7千万円

雨量グラフ(町田市図師 H20.8.28) 吉清



<森野橋上流>



<上鶴間橋下流>



### 3. 台風9号における洪水状況

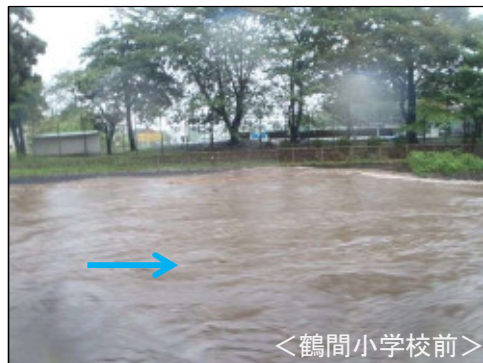
○台風9号【平成28年8月22日】

○気象情報:大雨洪水警報 4時59分

○水防警報:水防団待機 9時24分  
 水防団出動 10時30分  
 氾濫危険情報 10時41分  
 氾濫危険情報解除 17時42分

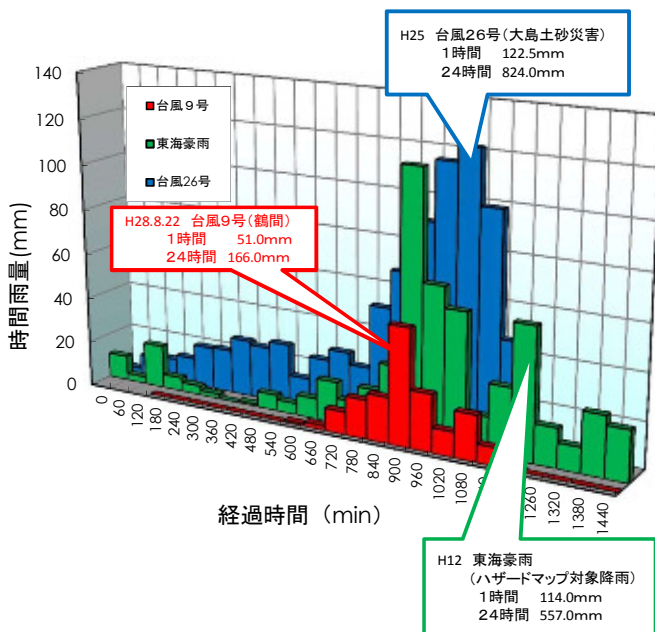
○降雨状況:町田観測所 45mm/hr  
 鶴間 " 51mm/hr

○水位状況:境橋観測所 護岸天端下がり65cm  
 鶴間 " " 89cm  
 (鶴間小学校前 " 0cm現場で目視確認)



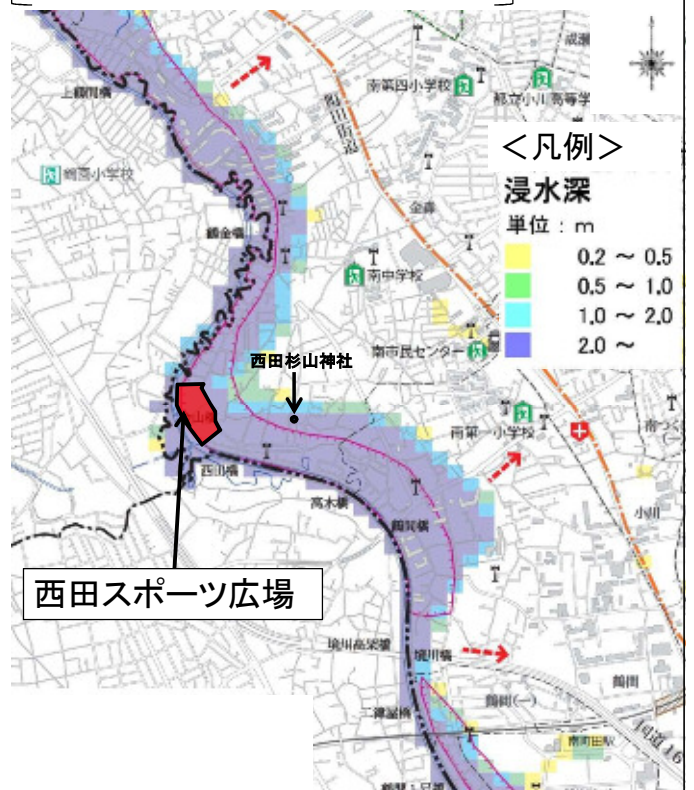
### 4. 台風9号と他降雨との比較

○降雨状況の比較



○ハザードマップ(平成20年12月町田市公表)

対象降雨:東海豪雨(H12.9)  
 総雨量589mm、時間最大雨量114mm



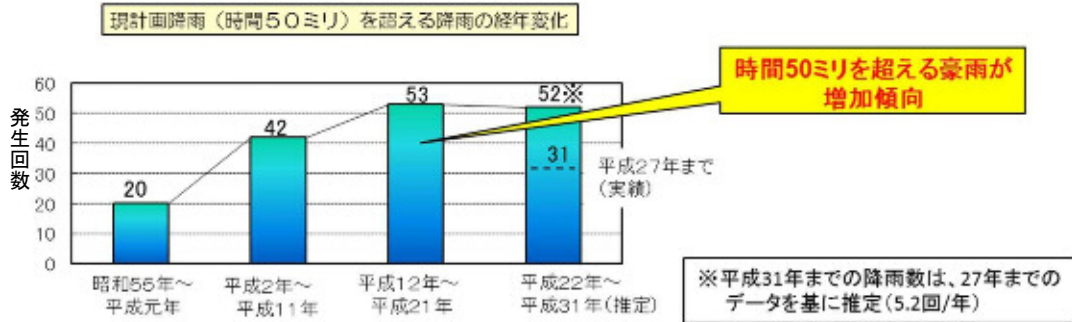
<被害状況>

	床上浸水	床下浸水	死者
H12東海豪雨(愛知県)	22,078棟	39,728棟	7名
H25台風26号(大島)	79棟	67棟	36名(土砂災害)



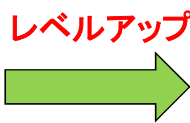
# 5. 目標整備水準のレベルアップについて

## ○降雨状況の変化



## ○中小河川における都の整備方針(H24.11)、東京都豪雨対策基本方針(H26.6)

これまでの目標整備水準  
1時間50ミリ降雨  
(年超過確率1/3)



新たな目標整備水準  
1時間65ミリ降雨(多摩部)  
(年超過確率1/20)

## ○多摩部65ミリ(区部75ミリ)とした理由

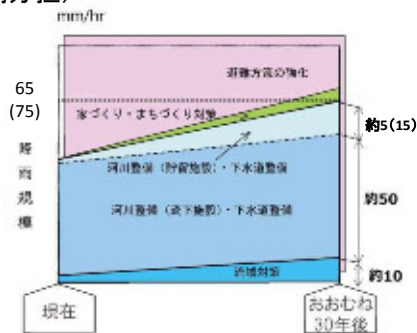
- ・概ね30年後までに実現可能で、費用対効果が最大となる整備目標水準(B/C=1.45)
- ・過去に50ミリを超える雨で発生した水害(溢水)を概ね解消できる。(既往113水害のうち、111水害を解消) ...など。

# 6. 65ミリ整備(多摩部)の考え方

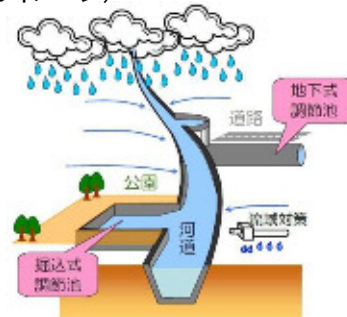
## ○各対策の役割分担

対策は、河道(流下施設)、調節池(貯留施設)、流域対策(貯留・浸透施設)を組み合わせる実施

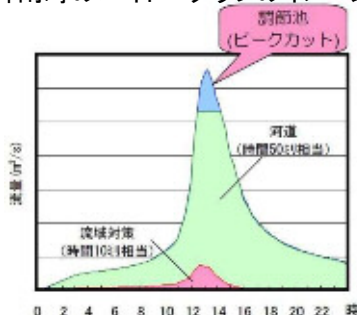
(役割分担)



(各対策のイメージ)



(計画降雨時のハイドログラフのイメージ)



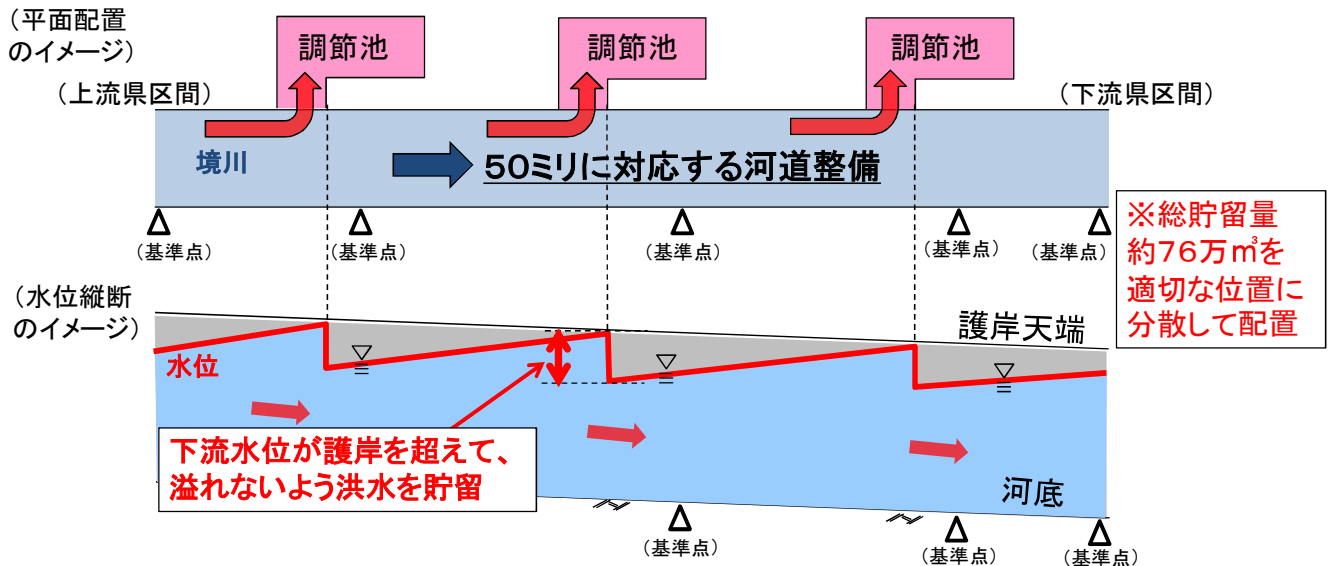
## ○役割分担の考え方

- ・河道の再拡幅は、全川で再度、用地買収が必要。多大な時間を要し、非現実的。
- ・調節池は、用地買収の必要ない公有地を活用することで、早期の治水安全度向上が実現可能。

## 7. 境川水系河川整備計画の概要

- 策定者：東京都、神奈川県、横浜市(平成27年4月に共同策定)
- 整備期間：概ね30年間
- 整備目標：都区間は時間65ミリ(年超過確率1/20)(※県区間は時間60ミリ、1/10)
- 具体策：河道、調節池(総貯留量約76万 $m^3$ )、流域対策を組合わせて目標を達成
- 調節池を先行整備し、治水安全度を早期に向上させる。

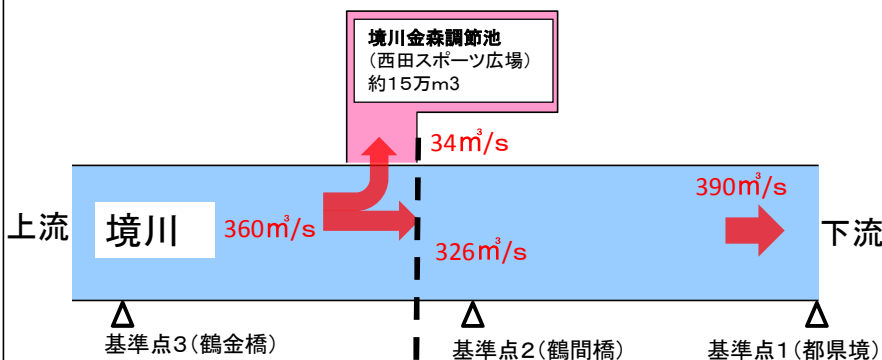
<都管理区間における65ミリ整備計画のイメージ>



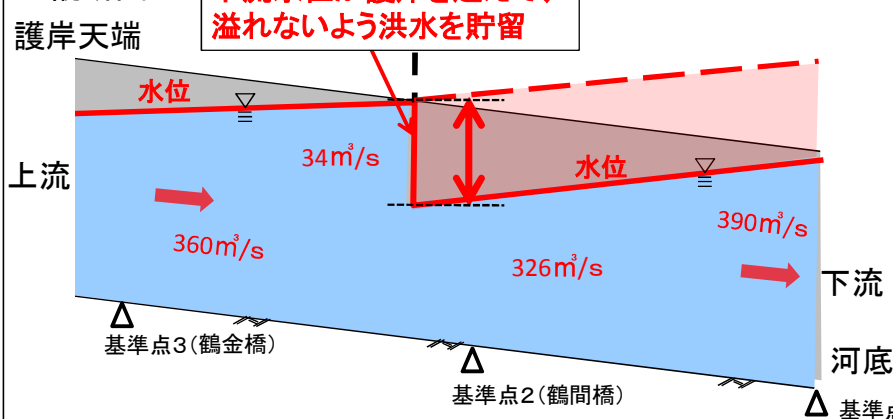
○河川整備計画の公表：<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/content/000007308.pdf>

## 8. 調節池整備場所の設定

<平面図>



<縦断図>



設定のポイント

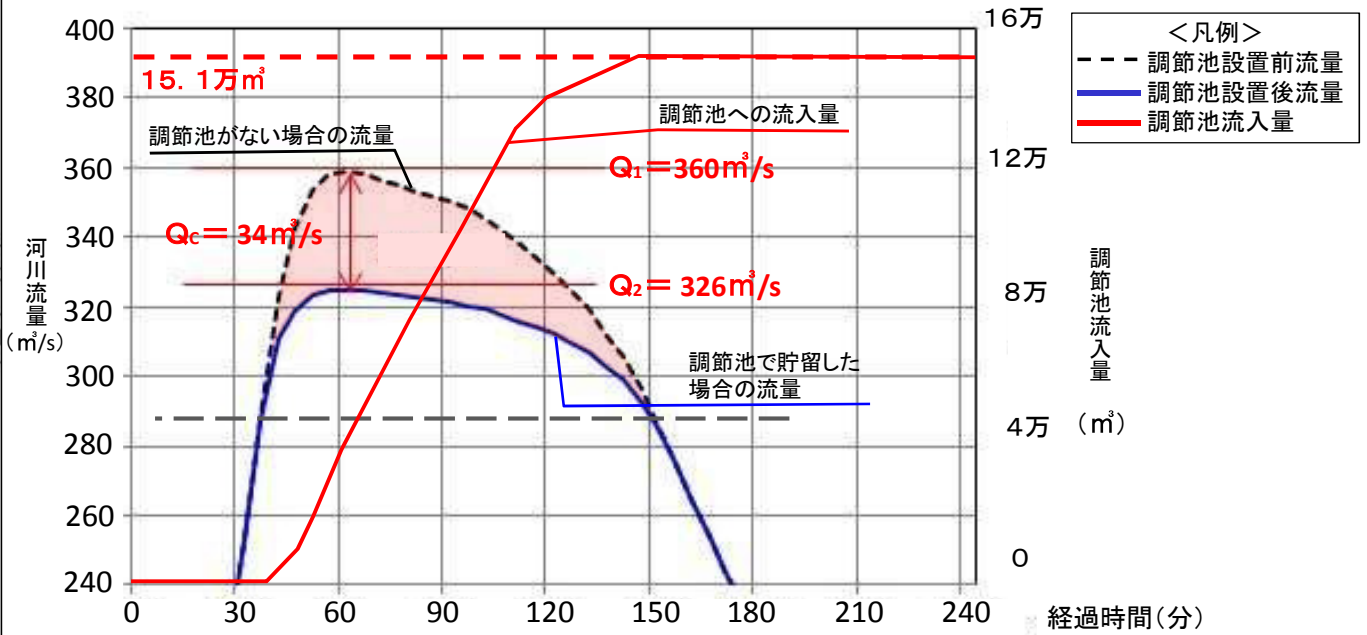
- 下流(基準点1~2区間)で溢水を防ぐためには、その上流(基準点2~3区間)で34 $m^3/s$ の洪水貯留(約15万 $m^3$ )が必要。
- 上記規模の調節池が設置可能な沿川の公共用地を調査。

その結果、

**西田スポーツ広場**を選定  
(当該場所以外に候補地がない)

# 9. 金森調節池約15万トンの根拠

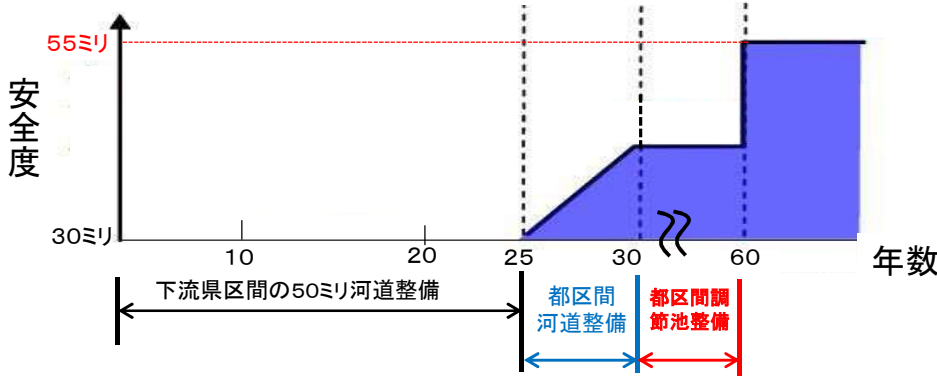
＜流量変化と調節池流入量のグラフ＞



- 調節池がない場合の最大流量  $Q_1 = 360 \text{ m}^3/\text{s}$
- 調節池で貯留した場合の最大流量  $Q_2 = 326 \text{ m}^3/\text{s}$  (これを上回ると下流都区間で溢水発生)
- 調節池で低減が必要なピーク流量  $Q_c = Q_1 - Q_2 = 34 \text{ m}^3/\text{s}$
- 上記を満足させるためには、調節池に  部分の洪水を貯留しなければならない。  
➡ **必要貯留量 = 約15万 $\text{m}^3$**

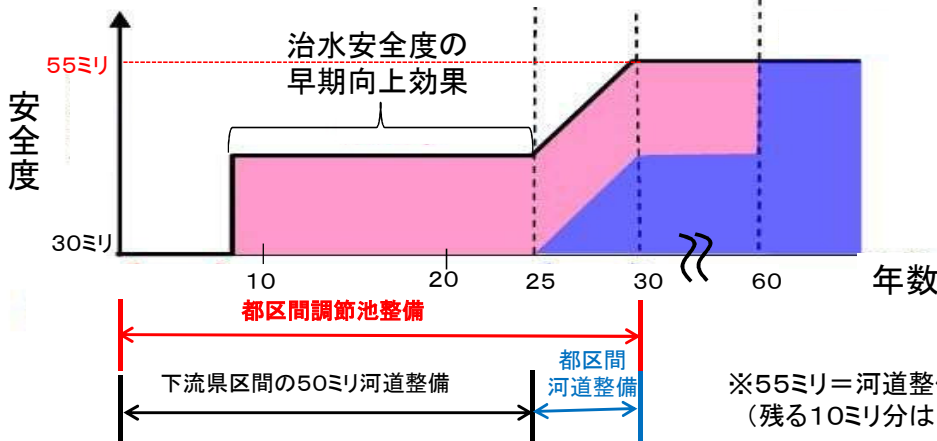
# 10. 調節池の先行整備による効果

＜下流県区間の整備を待つ場合＞



○今後30年間は治水安全度が向上しない。  
(現況は30ミリ対応)

＜都区間の調節池を先行整備した場合＞



○調節池を先行整備すると、30年待たずに早期に治水安全度を向上できる。

※55ミリ＝河道整備(50ミリ)＋調節池整備(5ミリ)  
(残る10ミリ分は、流域対策で対応)

# 11. 計画規模を超える豪雨への対応

○計画規模を超える豪雨へは、ハード対策及びソフト対策を組み合わせることで対応

## ハード対策

- ・年超過確率1/20までの降雨
  - ①河道整備
  - ②調節池
  - ③流域対策
  - ④その他(下水道整備など)上記を今後30年で完了させる。

浸水被害を防止し、  
財産を守る。

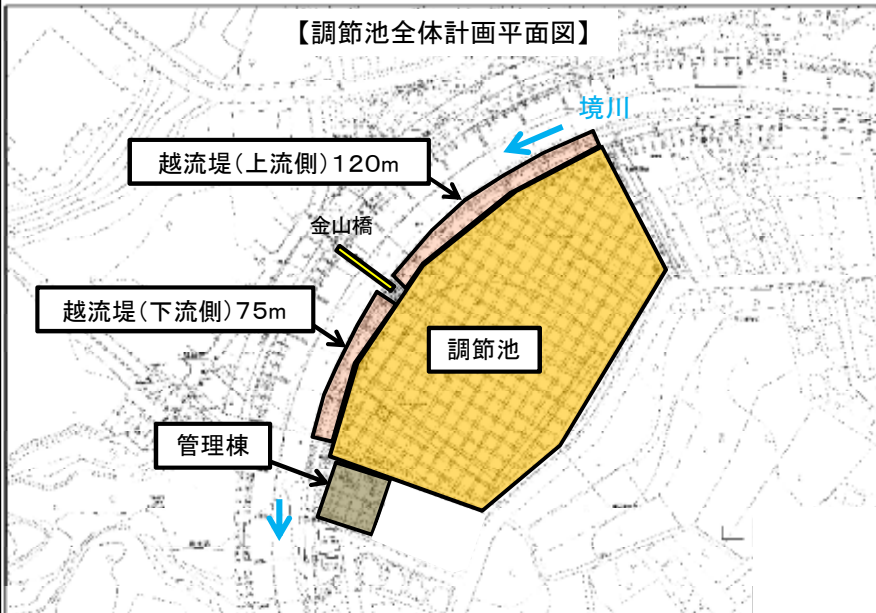
## ソフト対策

- ・年超過確率1/20を超える降雨
  - ①ハザードマップの公開(H12 東海豪雨)  
※想定しうる最大規模の降雨(1/1000)に改定予定
  - ②水位周知河川に指定  
氾濫危険情報の発表(H18年度～実施)
  - ③水位、河川動画情報の公開(H27.6～実施)

都民の生命を守る。

# 12. 境川金森調節池の概要

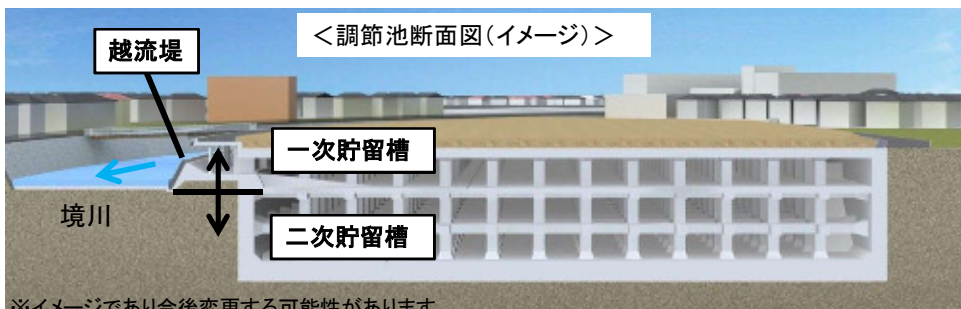
【調節池全体計画平面図】



## 施設概要

- ・貯留量: 約15万 $m^3$   
(25mプールで、約500杯)  
内訳 一次貯留約 3万 $m^3$   
二次貯留約 12万 $m^3$
- ・形式: 地下式  
(鉄筋コンクリート造、  
管理棟等一部は地上設置)
- ・施設規模: 長さ約190m、幅約90m  
深さ約20m
- ・付属設備: 排水ポンプ、排気設備他
- ・管理棟: 地上2階(高さ=約11m)  
地下1階(深さ=約7m)  
建築面積600 $m^2$

<調節池断面図(イメージ)>



※イメージであり今後変更する可能性があります。



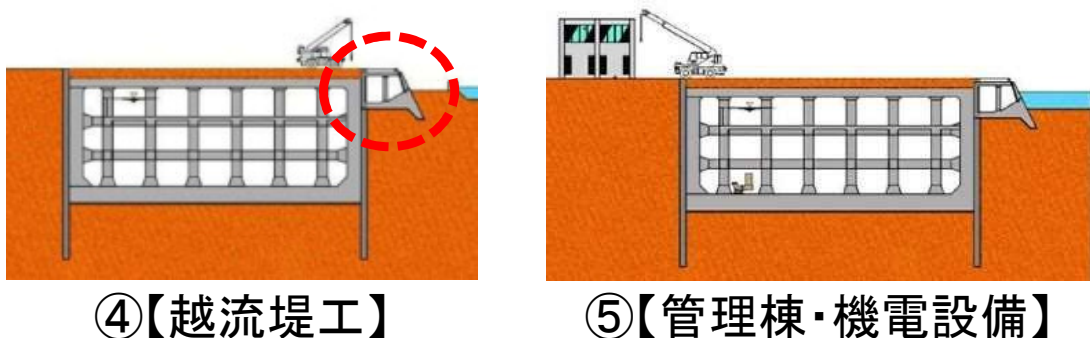
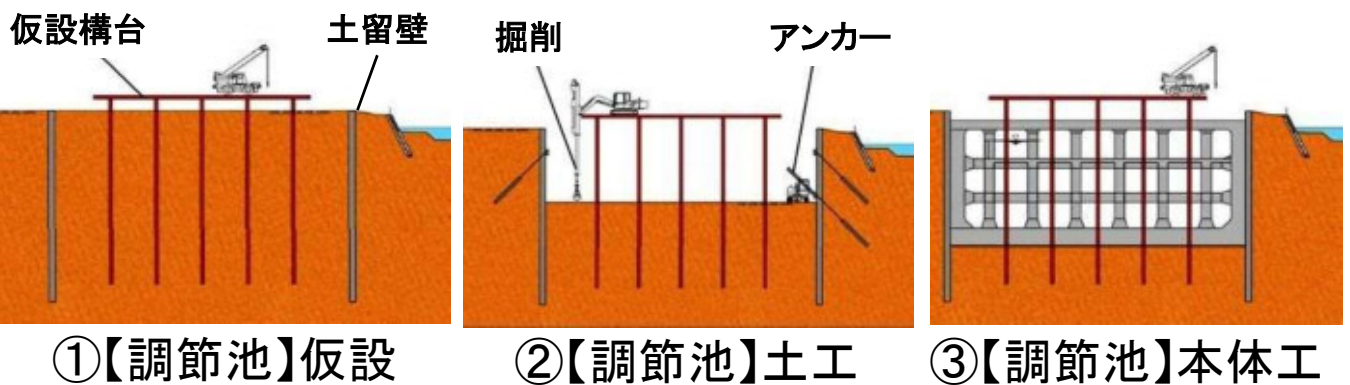
## 13.境川金森調節池イメージ図



本図はイメージであり、今後、市との協議等により変更となる可能性があります。

## 14.工事の主な手順

工事の主な手順は、以下の①～⑤工程となります。





## 15.工事スケジュール(予定)

工 期		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	
準備工事 (道路補修・支障物移設)			H28年度 H29年度	相模原市側 町田市側							
本 体 工 事	調節池 (仮設・本体工)		■								
	越流堤							■	■		
管理棟設置工事								■	■		
機械設備工事 電気設備工事									■	■	
スポーツ広場利用 が可能な期間		平成29年 6月末	夏祭り ○								
主な工事車両 通行予定				10tダンプトラック 最大約100台/日			コンクリートミキサー車 最大約80台/日				
工事連絡協議会 (仮称)			← 1回/1ヶ月程度 想定 →								

## 16.H28.5.22説明会以降の追加情報

次のページから以下のことがらについて

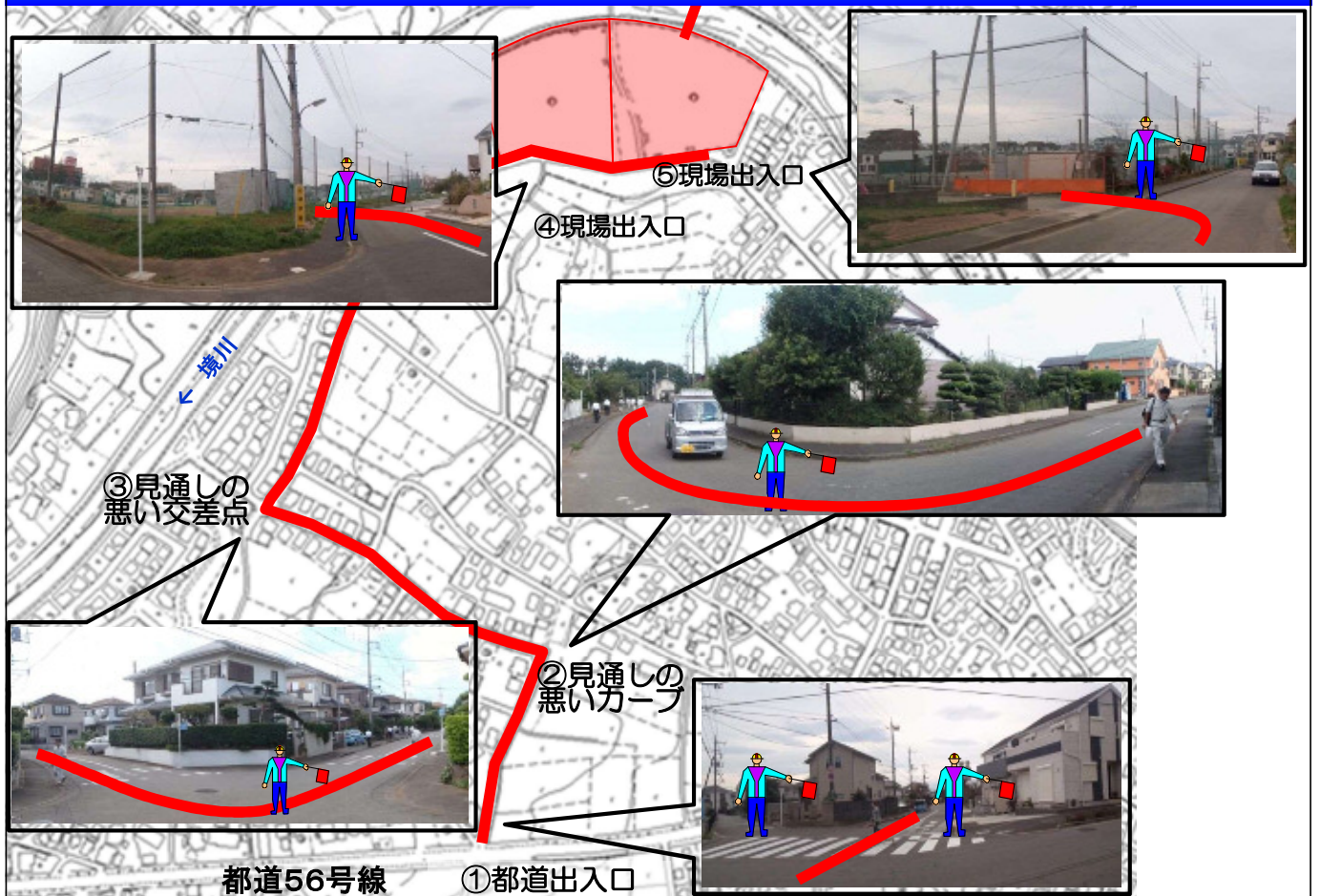
ご説明させていただきます。

- ・ 安全対策（交通誘導員の配置）
- ・ 交通量調査の実施 ※平成28年度
- ・ 家屋調査の実施 ※平成29年度（本体工事着手前）
- ・ 地下水対策、調査の実施
- ・ 工事連絡協議会（仮称）の設置イメージ
- ・ インフォメーションセンターの開設
- ・ 準備工事（搬入路舗装工事）の実施
- ・ ホームページでの資料公開

# 17.安全対策(交通誘導員の配置)

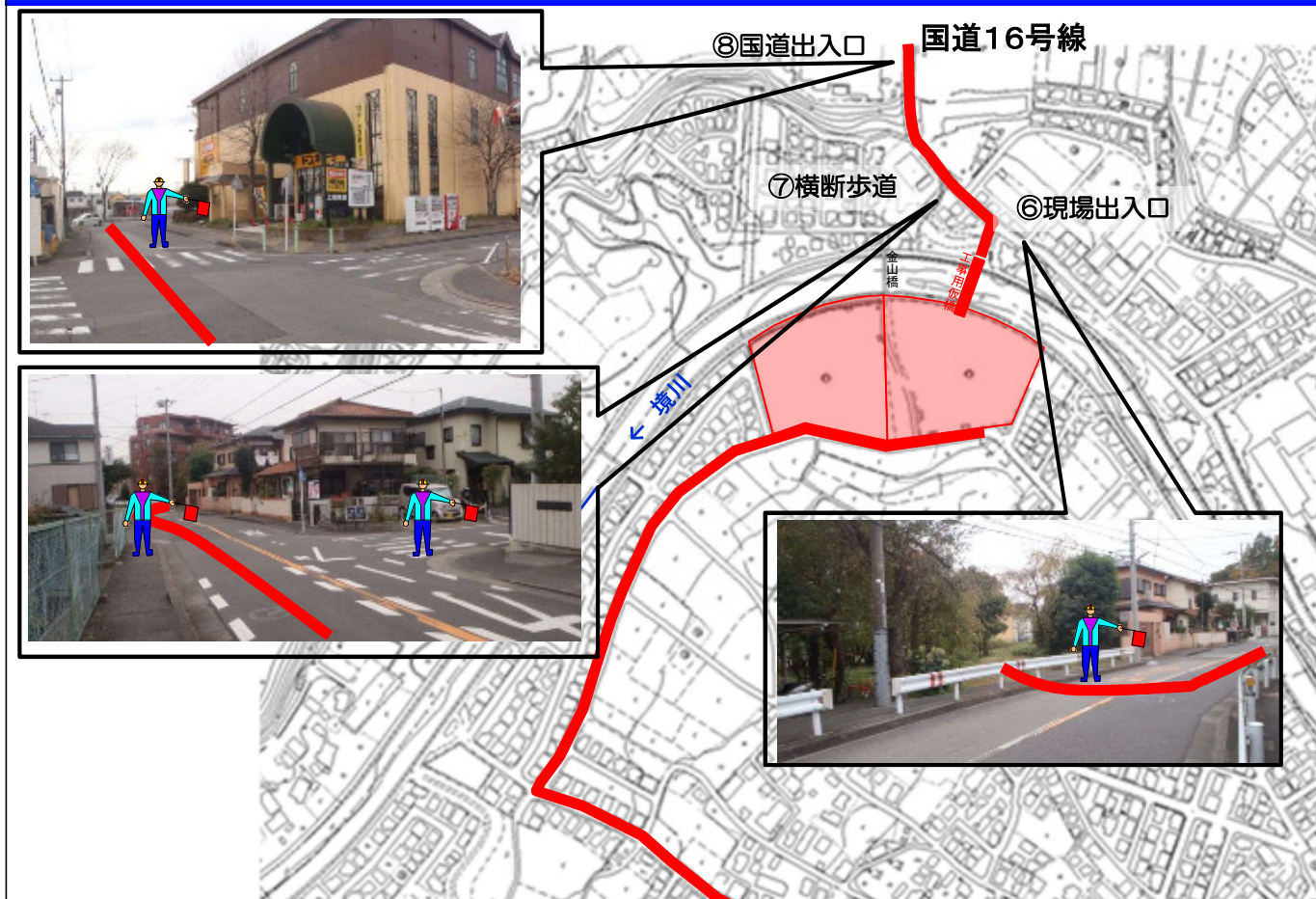


# 18.交通誘導員の配置予定箇所(町田市側)





## 19.交通誘導員の配置予定箇所(相模原市側)



## 20.交通量調査の実施 ※平成28年度

工事車両通行ルート、サイクリングロードにおける交通量調査を実施します。

調査では一般車両のほか、歩行者、自転車の通行を調査して、工事前の状況を把握するとともに、工事に際して、一般交通の妨げにならない様、運行計画に役立てます。

また振動・騒音も観測し、現状を把握します。

番号	交差点名	1号線		白根線	全線幅員 超過等 関係等 関係等	備考
		1号線 121	1号線 122			
1	町田市 都道56号横合流部	○	○	○	○	○
2	町田市 町田市道 並枝部1		○	○		○
3	町田市 町田市道 直枝部1	○				○
4	町田市 町田市道 並枝部2	○		○		○
5	町田市 町田市道 直枝部2		○			○
6	町田市 町田市道 直枝部3	○		○		○
7	町田市 町田市道 直枝部4		○	○		○
8	相模原市 相模原市道 並枝部1	○		○		○
9	相模原市 相模原市道 並枝部2	○		○		○
10	相模原市 相模原市道 直枝部2	○		○		○
11	相模原市 国道16号横合流部		○	○		○
12	町田市 河川管理用通路					
13	相模原市 河川管理用通路			○		



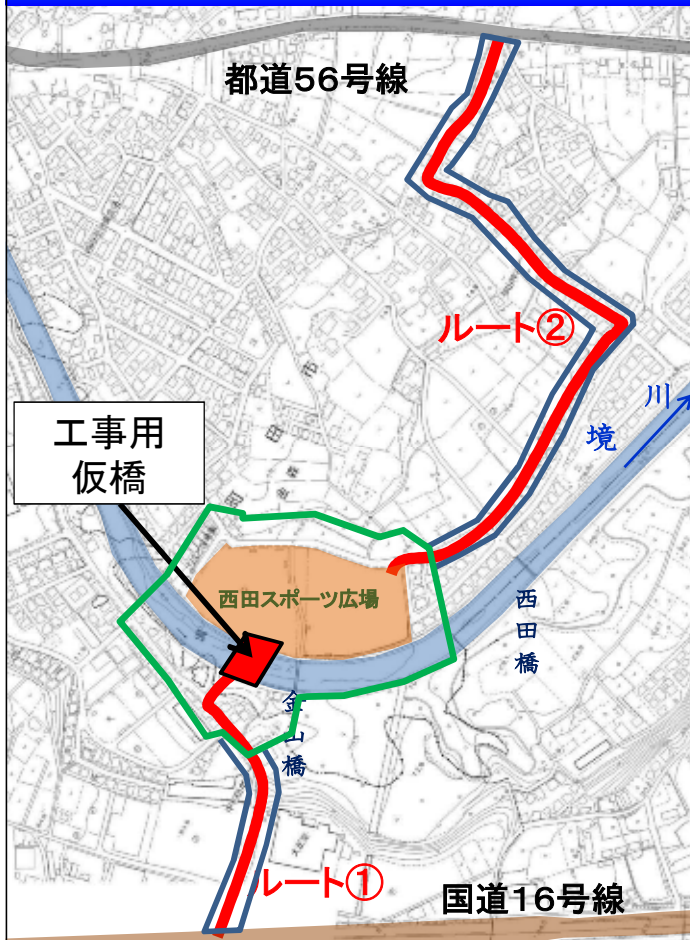
### 【調査概要】

調査時期: 12月中(予定)

調査地点: 13地点



## 21.家屋調査の実施 ※平成29年度(本体工事着手前)



家屋調査とは、

「工事による家屋への影響の有無を正確に判断する資料を得るため、家屋の状況を把握するための調査」です。

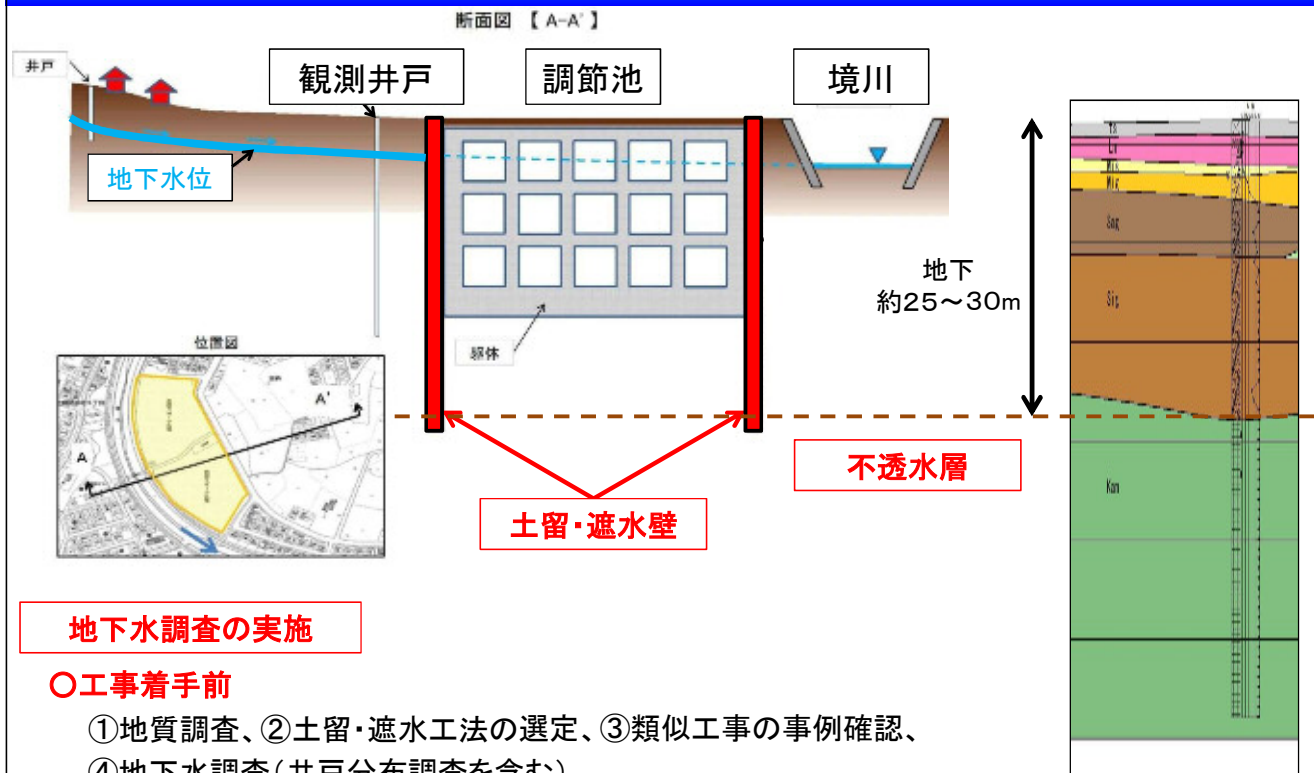
家屋全般、建物内部・外部について、工事前後に調査いたします。

調査範囲：

- ①工事区域に沿って民地側に30m  
(左図の緑の範囲)
- ②搬出入ルート沿道の家屋  
(左図の青の範囲)

ご協力よろしくお願いたします。

## 22.地下水対策、調査の実施



### 地下水調査の実施

#### ○工事着手前

- ①地質調査、②土留・遮水工法の選定、③類似工事の事例確認、④地下水調査(井戸分布調査を含む)

#### ○工事着手後～工事完了後

地下水調査(長期観測)

地層断面図  
(地質調査結果より)

※工事に伴い被害が発生したと判断される場合、損失補償を行う。

## 23.工事連絡協議会(仮称)の設置イメージ(1/2)

- 工事連絡協議会(仮称)は、  
地域の住民等及び東京都が調節池に係わる  
情報や意見等の交換を行うことを目的に設置
- 事務局は、南多摩東部建設事務所工事課とする
- 開催は、工事契約前の平成29年4月から1回/月  
程度で実施

(工事契約以降、  
工事受注者も参加)

協議会イメージ



## 24.工事連絡協議会(仮称)設置イメージ(2/2)

- 工事連絡協議会(仮称)のメンバーは以下を想定  
西田町内会、西田団地自治会、町谷町内会、  
中和田自治会、南中学校、南第一小学校、  
こばと保育園、上鶴間高等学校、谷口中学校、  
鶴園小学校、町田市、相模原市、工事受注業者、  
南多摩東部建設事務所工事課(事務局)

(協議会(仮称)については、今後、ご意見・ご要望等により  
詳細を決めていきたいと考えています)



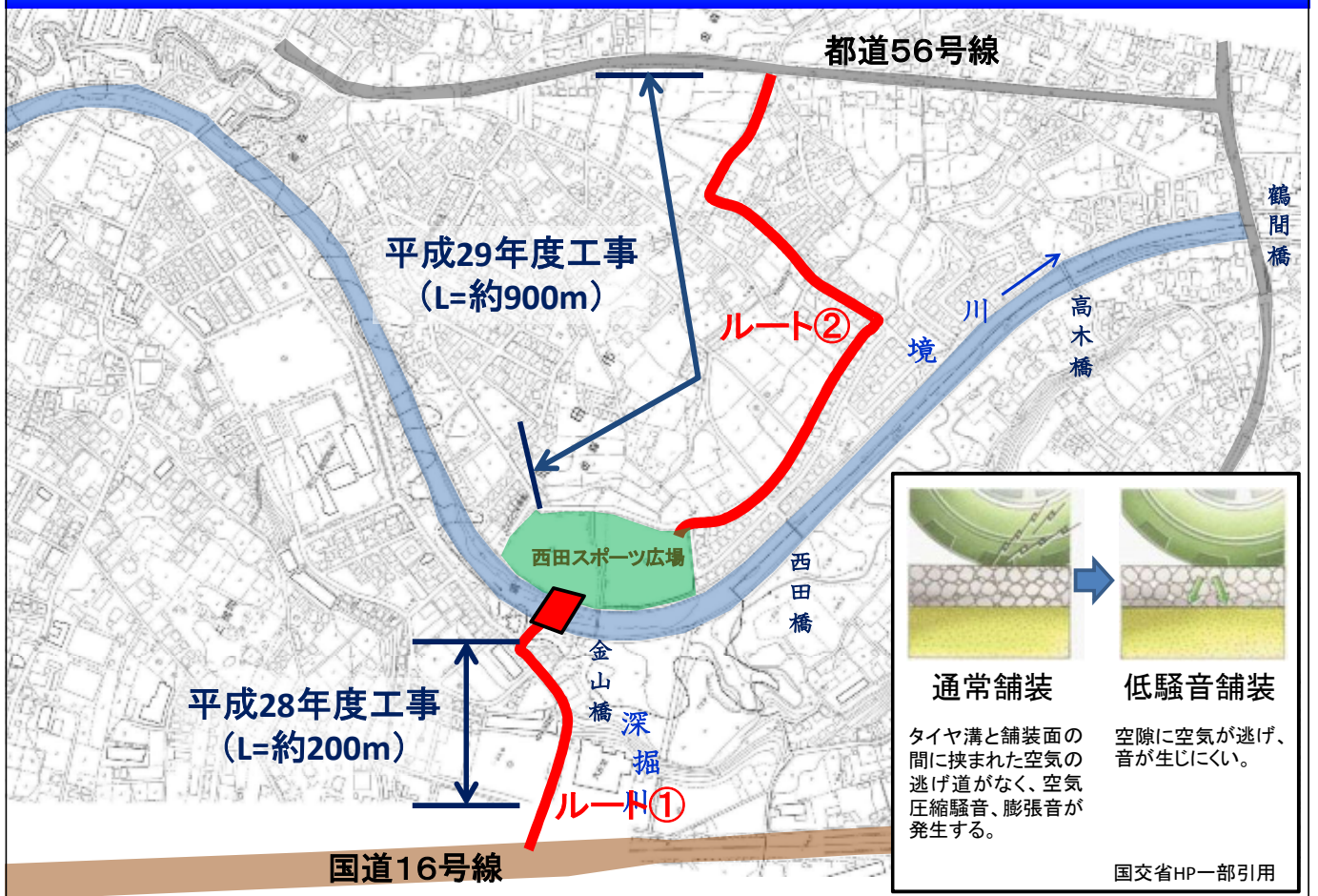
## 25.インフォメーションセンターの開設

工事着手後、現場内にインフォメーションセンターを開設し、  
現場からの情報提供のほか、ご相談窓口とします。



※写真はイメージであり、実際とは異なる可能性があります。

## 26.準備工事(搬出入路舗装工事)の実施





## 27.H28準備工事(搬出入路舗装工事):相模原市側



写真①

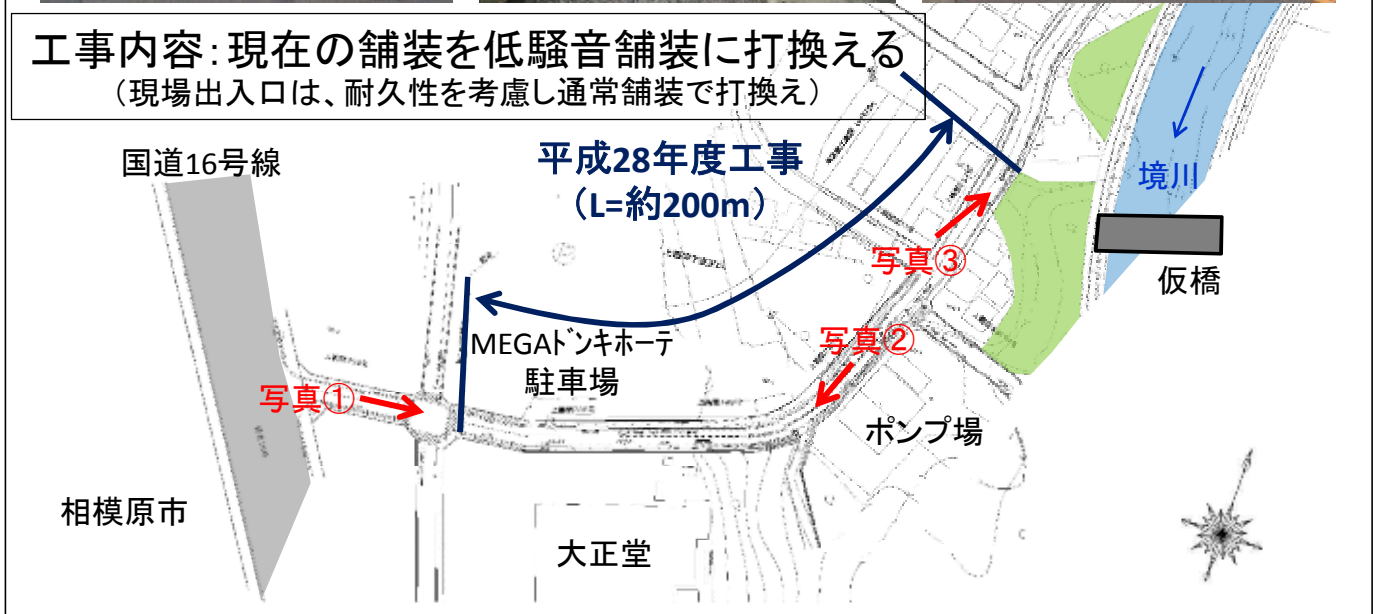


写真②



写真③

工事内容:現在の舗装を低騒音舗装に打換える  
(現場出入口は、耐久性を考慮し通常舗装で打換え)



国道16号線

平成28年度工事  
(L=約200m)

境川

仮橋

MEGAドンキホーテ  
駐車場

写真③

写真②

ポンプ場

写真①

相模原市

大正堂

## 28.H29準備工事(搬出入路舗装工事):町田市側



写真①



写真②



写真③

都道  
56号線



工事用  
仮橋

町田市

平成29年度工事  
(L=約900m)

西田  
スポーツ広場

写真①

写真②

写真③

工事内容:  
現在の舗装を  
低騒音舗装に  
打換える  
(現場出入口、カーブ  
は耐久性を考慮し通  
常舗装で打換え)



## 29.搬出入路舗装工事イメージ



①不陸整正



②アスファルト敷均し



③アスファルト舗装転圧



④区画線施工

## 30.ホームページでの資料公開

ここをクリックすると右の画面に行きます



南多摩東部建設事務所  
ホームページ トップ画面

### 独立水系

#### ■ 境川



【島橋付近】

境川は神奈川県との境を流れているため、昭和42年に神奈川県と管理協定を結び、鶴瀬橋(町田市鶴間)上流120メートルから根岸橋上流端(町田市根岸)までの10.49キロメートルを都が管理しています。  
上下流については、神奈川県が管理しているため、神奈川県と調整を図りながら、事業を進めています。

近年、東京都内において時間50ミリを超える降雨が増加していることから、東京都河川整備の目標水準をこれまでの1時間50ミリ降雨から65ミリ降雨(多摩地域)に引き上げる方針を策定しました。平成20年8月に水害に見舞われた境川は優先的に整備水準を引き上げる河川となっています。  
現在、町田市金森6丁目の西田スポーツ広場の地下に「境川金森調節池」を整備するため、設計調査を進めるとともに、地域の皆様等に対して説明会を実施させていただいております。  
以下に、説明会で配布させていただいた資料、議事要旨などを提示いたします。

ご不明点等ありましたら、南東建工事課(042-720-8644)までご連絡ください。

#### 資料リンク:

- ・第一回事業説明会配布資料 (平成27年9月8日、9月8日開催)
- ・第一回事業説明会議事要旨
- ・第二回事業説明会前地域の皆様へ配布した資料 (境川金森調節池について)
- ・第二回事業説明会配布資料 (平成28年5月22日開催)
- ・第二回事業説明会議事要旨

ここをクリックすると資料が表示されます

河川の整備ホームページ中段画面(境川)

これまでの説明会資料等は、南多摩東部建設事務所ホームページに掲載しています。

(URL: <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/nantou/kouji/kasen-seibi.html>)

## 31.工事着手までのスケジュール(予定を含む)

平成26年度

- ・基本設計、地質調査
- ・町会役員、広場利用者団体代表者への事前説明会

平成27年度

- ・第一回事業説明会(H27.9.8/9.18)
- ・詳細設計(~平成28年度)

平成28年度

- ・第二回事業説明会(H28.5.22)
- ・事業説明会(町田市側)(本日)
- ・準備工事(相模原市)説明会(12月以降を予定)

➡ 工事着手

平成29年度

- ・工事連絡協議会(仮称)の開催(4月~)
- ・準備工事(町田市)説明会(4月以降を予定) ➡ 工事着手
- ・調節池本体工事説明会 ➡ 工事着手